

第 5 章 市民協働・行財政運営

～市民と行政が共に輝く未来をつくる～

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	輝くまちづくり交付金<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	総合政策部市民協働推進課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想
目的と概要	輝くまちづくり交付金事業を通じ、市民と行政が協働、連携して公益的な事業を実施することで、地域やまちの課題を共有し、課題解決を通じて地域の活性化につながる新たな取組を支援する。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		2,448	2,523	3,050
財源	一般財源 (千円)	2,448	2,523	3,050
	国道支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	2,120	2,112	2,165
①	職員数 (人)	0.3	0.3	0.3
参考	市民一人あたりの費用 (円)		15.9	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市の人口 159,014 人 (R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1) 年度当初計画	(2) 事業の実績と成果																										
<p>① 課題テーマに沿った提案事業の募集</p> <ul style="list-style-type: none"> ○2022年度の課題テーマ <ul style="list-style-type: none"> ・地域経済の活性化 ・地域を担う人材育成 ・安心して暮らせる都市 ・若い世代を社会全体で支える ○上記課題テーマに沿った提案事業を募集。 (市ホームページ、広報くしろ、報道各社等の媒体を通じて事業を募集) <p>② プレゼンテーション審査会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ○提案事業について、プレゼンテーション審査会を開催。 <p>③ 採択事業の検証</p> <ul style="list-style-type: none"> ○2022年度事業の事業報告書を確認。 	<p>① 課題テーマに沿った提案事業の募集</p> <ul style="list-style-type: none"> ○受付期間 2022年4月15日～5月13日 ○市内で活動する市民団体等から、11事業の提案を受けた。 <p>② プレゼンテーション審査会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ○11事業のうち、11事業を採択。 <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>採択事業</th> <th>交付金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>釧路スケートボードコンテスト&講習会</td> <td>113千円</td> </tr> <tr> <td>災害時緊急連絡シール配布・啓発事業</td> <td>140千円</td> </tr> <tr> <td>ひがし北海道防災スクール2022</td> <td>150千円</td> </tr> <tr> <td>みんなで考える防災研修会</td> <td>300千円</td> </tr> <tr> <td>フットバスを利用した周遊ルートづくり</td> <td>250千円</td> </tr> <tr> <td>釧根マルっかじりフェスティバル</td> <td>100千円</td> </tr> <tr> <td>くしろデジタルスタンプラリーによる釧路市内アドベンチャーツーリズム推進プロジェクト</td> <td>360千円</td> </tr> <tr> <td>地域連携による阿寒丹頂の里エリア活用推進プロジェクト</td> <td>500千円</td> </tr> <tr> <td>未来につながる多世代型コミュニティ拠点推進事業</td> <td>250千円</td> </tr> <tr> <td>くしろがわオープンテラス</td> <td>200千円</td> </tr> <tr> <td>幼い子どもたちのためのコンサートひろば</td> <td>150千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計</td> <td>2,513千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>③ 採択事業の検証</p> <ul style="list-style-type: none"> ○釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略に即した事業や観光・防災など公益的な事業により、市民と行政の協働・連携が図られた。 	採択事業	交付金額	釧路スケートボードコンテスト&講習会	113千円	災害時緊急連絡シール配布・啓発事業	140千円	ひがし北海道防災スクール2022	150千円	みんなで考える防災研修会	300千円	フットバスを利用した周遊ルートづくり	250千円	釧根マルっかじりフェスティバル	100千円	くしろデジタルスタンプラリーによる釧路市内アドベンチャーツーリズム推進プロジェクト	360千円	地域連携による阿寒丹頂の里エリア活用推進プロジェクト	500千円	未来につながる多世代型コミュニティ拠点推進事業	250千円	くしろがわオープンテラス	200千円	幼い子どもたちのためのコンサートひろば	150千円	合計	2,513千円
採択事業	交付金額																										
釧路スケートボードコンテスト&講習会	113千円																										
災害時緊急連絡シール配布・啓発事業	140千円																										
ひがし北海道防災スクール2022	150千円																										
みんなで考える防災研修会	300千円																										
フットバスを利用した周遊ルートづくり	250千円																										
釧根マルっかじりフェスティバル	100千円																										
くしろデジタルスタンプラリーによる釧路市内アドベンチャーツーリズム推進プロジェクト	360千円																										
地域連携による阿寒丹頂の里エリア活用推進プロジェクト	500千円																										
未来につながる多世代型コミュニティ拠点推進事業	250千円																										
くしろがわオープンテラス	200千円																										
幼い子どもたちのためのコンサートひろば	150千円																										
合計	2,513千円																										

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持	
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響で中止した事業があったものの、市と団体等が役割分担しながら協働・連携をすることで、公益性と幅広い波及効果のある事業が、より効果的に実施できた。今後も、市民と行政が協働実施することがふさわしい先進的な行政課題を具体化し、テーマとして設定できるよう、全庁に促していく。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・規模を縮小した事業があったものの、市と団体等が役割分担しながら協働・連携をすることで、公益性と幅広い波及効果のある事業が、より効果的に実施できた。今後も、市民と行政が協働実施することがふさわしい先進的な行政課題を具体化し、テーマとして設定できるよう、全庁に促していく。
今後(令和5年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・輝くまちづくり交付金を通じて市民が地域社会の一員として、自主的にまちづくりに参加していただく意識づくりの本交付金事業を継続する。 	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・輝くまちづくり交付金を通じて市民が地域社会の一員として、自主的にまちづくりに参加していただく意識づくりの本交付金事業を継続する。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	釧路市まちづくり基本構想推進事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	総合政策部都市経営課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想
目的と概要	2018年度から2027年度までのまちづくりの指針である「釧路市まちづくり基本構想」の推進と周知を図る。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>(1)出前講座等による啓発の実施 令和4年度より、「目指すべきまちづくり」を同じく掲げる、「第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略」と併せて出前講座を実施</p> <p>(2)職員向け研修の実施等</p>	<p>(1)出前講座等による啓発の実施 ①生涯学習まちづくり出前講座の実施 2回 「人口減少社会に立ち向かうまちづくり」 ・実施日 令和4年5月20日 ・対象者 釧路市立清明小学校5年生 65人 ・実施日 令和4年10月14日 ・対象者 北海道釧路明輝高等学校1年生 9人 ②釧路学教養講座、ライフアップ講座、くしろ市民大学合同講座の依頼を受け実施 ・実施日 令和4年12月3日 ・題目 釧路市の目指すまちづくり ～いかに人口減少社会に立ち向かうのか～ ・対象者 各講座受講者 合計約60人 (2)職員向け研修の実施等 ①令和5年度予算編成における政策予算検討会 ・実施日 令和4年8月19日 ・テーマ デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進 ゼロカーボンシティの推進 ・対象者 部長職 21人参加 ②令和4年度若手職員政策形成スキル研修 ・実施日 令和4年9月29日～10月24日(4日間) ・目的 政策形成をする上で求められる、考え方・スキル・知識を学ぶ ・対象者 若手職員 16人</p> <p>(3)フォローアップ 令和4年度は、社会情勢の変化がみられること、国のデジタル田園都市国家構想の動き等から、フォローアップの在り方を含めて改めて検討することとした。</p>
<p>(3)フォローアップ 釧路市まちづくり基本構想策定委員長(釧路市顧問)を迎えたフォローアップ会議の開催、基本構想の理念を政策に生かす予算の検討を実施</p>	

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		140	120	147
財源	一般財源 (千円)	140	120	147
	国道支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考 職員人件費 (千円)		3,534	3,520	3,608
① 職員数 (人)		0.5	0.5	0.5
参考 市民一人あたりの費用 (円)				0.8
② 市民一人あたりの将来負担額 (円)				0.0
注1) 釧路市民の人口 159,014 人(R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 継続維持	
課題	<ul style="list-style-type: none"> まちづくりの指針である釧路市まちづくり基本構想を地域と共有するために、周知のさらなる充実が課題となっている。 基本構想で位置付けた重点戦略を推進する必要がある。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> まちづくりの指針である釧路市まちづくり基本構想を地域と共有するために、基本構想で位置付けた重点戦略を推進する必要がある。
今後(令和5年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 「釧路市まちづくり基本構想」を推進していく中で、引き続き「都市経営」の考え方の浸透に努める。 	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 「釧路市まちづくり基本構想」を推進していく中で、引き続き「都市経営」の考え方の浸透に努める。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	まち・ひと・しごと創生総合戦略推進事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	総合政策部都市経営課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想
	第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略(内閣府)
目的と概要	平成27年12月に策定した「釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略」のフォローアップおよび総括のほか、国が令和元年12月に策定した「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン(令和元年改訂版)」、「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」や、北海道の人口ビジョンおよび総合戦略を勘案しつつ、本市において令和2年3月に策定した「第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の地方創生に係る取組を行う。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>(1)フォローアップ KPI達成度合・掲載事業の実施状況や第2期総合戦略の検証などの報告と意見交換を「釧路市まち・ひと・しごと創生推進会議(以下、「推進会議」)」にて実施</p> <p>(2)市民周知 HP、出前講座等 ※令和4年度より、「目指すべきまちづくり」を同じく掲げる、「釧路市まちづくり基本構想」と併せて出前講座を実施</p> <p>(3)交付金事業の進捗管理</p>	<p>(1)フォローアップ 令和4年9月1日に開催した第1回推進会議において、KPIや数値目標の達成度合を含めた施策の進捗状況について説明し、外部委員の客観的、専門的な視点から助言を得た。</p> <p>(2)市民周知 ・HP 推進会議の様態については、市HPに掲載し、市民周知を図った。</p> <p>・出前講座等 ①生涯学習まちづくり出前講座の実施 2回 「人口減少社会に立ち向かうまちづくり」 ・実施日 令和4年5月20日 ・対象者 釧路市立清明小学校5年生 65人 ・実施日 令和4年10月14日 ・対象者 北海道釧路明輝高等学校1年生 9人</p> <p>②釧路学教養講座、ライフアップ講座、くしろ市民大学合同講座の依頼を受け実施 ・実施日 令和4年12月3日 ・題目 釧路市の目指すまちづくり ～いかに人口減少社会に立ち向かうのか～ ・対象者 各講座受講者 合計約60人</p> <p>(3)交付金事業の進捗管理 推進会議において、令和3年度の国の交付金事業についての施策の進捗状況を説明し、外部委員からの助言を得た。</p>

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		67	99	190
財源	一般財源 (千円)	67	99	190
	国庫支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	1,413	1,408	1,443
①	職員数 (人)	0.2	0.2	0.2
参考	市民一人あたりの費用 (円)		0.6	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市の人口 159,014 人(R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持	
課題	<ul style="list-style-type: none"> 第2期総合戦略に定める施策について推進するとともに、地域経済に影響を及ぼす社会情勢の変化を注視し、必要に応じて、施策やKPI等の見直しや補う手段を検討する必要がある。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> 第2期総合戦略に定める施策について推進するとともに、地域経済に影響を及ぼす社会情勢の変化を注視し、必要に応じて、施策等の見直しを検討する必要がある。
今後(令和5年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 外部委員の意見等を踏まえた総合戦略の推進を図る。 国の地方創生施策に注視し、積極的な交付金の活用を図る。 	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 外部委員の意見等を踏まえた総合戦略の推進を図る。 国の地方創生施策に注視し、積極的な交付金の活用を図る。 第2期総合戦略および国の総合戦略に基づき、次期総合戦略の検討を進める。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	ふるさと納税推進事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	総合政策部都市経営課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 釧路市都市経営戦略プラン 釧路市財政健全化プラン
目的と概要	厳しい財政状況の中で自主財源を確保するため、「ふるさと納税」のPR促進、簡易に寄附できる環境整備、寄附者に対し釧路市の特産品贈呈等により、次年度以降の寄附の継続を促進し、歳入の向上に努める。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		635,204	1,013,829	1,462,384
財源	一般財源 (千円)	635,204	1,013,829	1,462,384
	国庫支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考 職員人件費 (千円)		9,187	9,152	9,380
① 職員数 (人)		1.3	1.3	1.3
参考 市民一人あたりの費用 (円)			6,376	
② 市民一人あたりの将来負担額 (円)			0.0	

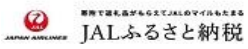

注1) 釧路市の人口 159,014 人 (R5.3末現在)
注2) 市民一人あたりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1) 年度当初計画
令和4年度目標：令和3年度を件数、寄附額ともに上回ること
令和3年度実績 58,495件 1,178,922,600円

(1) 積極的なPR活動の展開
・ふるさと会、同窓会等へのパンフレットの送付
・ホームページの整備

(2) 寄附しやすい環境づくり
① インターネットを介した申込フォーム導入
・新たな申込サービスを導入し、寄附者の獲得を図る。
《参考》
平成30年度：「さとふる」を導入
令和元年度：「ふるなび」「ANAのふるさと納税」を導入
令和2年度：「三越伊勢丹ふるさと納税」「東急ふるさとパレット」を導入
令和4年度：「JALふるさと納税」「ふるさとらべる」を導入

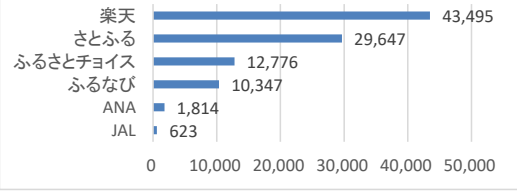
令和3年度利用実績：58,495件中58,492件
(利用率99.6%)

(2) 事業の実績と成果
◎令和4年度実績 99,380件 1,774,540,000円

(1) 積極的なPR活動の展開
・ふるさと会、同窓会等へのパンフレットの送付
在京釧路会、関西釧路会等 合計 620部送付
・釧路市ふるさと納税のランディングページの内容更新
釧路市らしい返礼品のPRに活用した。

(2) 寄附しやすい環境づくり
① インターネットを介した申込みフォームの導入
◎令和4年度の主な利用実績（郵送申込件数：180件）

インターネットを介した申込件数
(主要サイト別)



◎寄附額帯設定方法の変更
◎寄附額帯の設定方法を変更したことにより、柔軟な寄附額帯設定を可能とした。

(3) 返礼品の充実
・返礼品のラインナップ拡充
◎令和4年度返礼品：1,048品目 (R5.2月時点)
◎令和4年度新規返礼品：378品目
※定期便や旅行型返礼品の拡充
・返礼品の公募随時受付
◎事業者からの企画提案を随時受付し審査・更新

(4) クラウドファンディング(CF)型ふるさと納税の活用
・令和4年度実績なし。引続き、活用可能事業を検討する。

(3) 返礼品の充実
・返礼品のラインナップをさらに拡充
《参考》
令和2年度返礼品：909品目
令和3年度返礼品：946品目
・返礼品の公募については随時受付し、都度更新する。

(4) クラウドファンディング(CF)型ふるさと納税の活用
・クラウドファンディング型ふるさと納税を効果的に活用する方法を検討し、ふるさと納税全体の拡充を図る。

ふるさと納税の推移

年度	R2	R3	R4
金額(千円)	1,052,794	1,178,922	1,774,540
件数(件)	43,290	58,495	99,380

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 拡充		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 拡充	
課題	<ul style="list-style-type: none"> 「ふるさと納税募集に際し係る経費」が5割以下となるよう求められている。 市の取組をPRすることができ、目標額を達成できるようなGCFのテーマの発掘。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> 「ふるさと納税募集に際し係る経費」が5割以下となるよう求められている中で、市の取り組みを効果的にPRしていく必要がある。
今後(令和5年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ふるさと納税のさらなる拡大に向けた返礼品の充実やPR展開等を進める。 	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ふるさと納税のさらなる拡大に向けた返礼品の充実やPR展開等を進める。


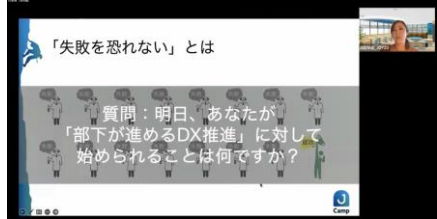

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	スマート自治体推進事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	総務部情報システム課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 釧路市デジタルトランスフォーメーション(DX)推進方針 釧路市デジタルトランスフォーメーション(DX)実行計画 自治体デジタルトランスフォーメーション(DX)推進計画(総務省)
目的と概要	「書かせない」、「待たせない」、「どこでもできる」、市民にとって便利で身近な市役所(「市民ファースト」)と効率的かつ効果的な行政サービスの提供(「行政のスマート化」)を推進するため、デジタル技術の活用を通じた従来の業務の改善、職員の働き方改革、新たな価値の創出を行う。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費	総額 (千円)	2,695	20,543	28,152
財源	一般財源 (千円)	2,695	10,374	23,452
	国道支出金 (千円)		10,169	4,700
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	7,067	10,560	14,430
①	職員数 (人)	1.0	1.5	2.0
参考	市民一人あたりの費用 (円)		129.2	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市の人口		159,014 人 (R5.3末現在)		
注2) 市民一人あたりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果										
<p>①釧路市スマート自治体推進プロジェクトチーム</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和3年4月、スマート自治体の実現を目的に設置。 3名の民間人を釧路市DXアドバイザーに任命。プロジェクトチームにおいて専門的立場から助言を受ける。 <p>【釧路市DXアドバイザー】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>釧路ITクラスター推進協会 中島 秀幸 氏</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>(株)アフォーダンス 渡部 卓央 氏</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>株式会社ジョイゾー 四宮 琴絵 氏 (所属名は令和5年3月時点)</p> </div> </div>	<p>①釧路市スマート自治体推進プロジェクトチーム</p> <ul style="list-style-type: none"> 全4回の会議に加え、チャットにより随時意見交換。 ◎ 情報発信見直しや情報格差対策をはじめ、釧路市DX実行計画の実施施策について改善が図られた。 令和4年8月、四宮氏を講師としたDX研修を実施。 ◎ 全庁あげたDX推進に向け幹部の意識醸成につながった。 <p>【部長職DX研修】</p> 										
<p>②行政手続のオンライン化</p> <ul style="list-style-type: none"> 「ぴったりサービス※」を活用した行政手続きのオンライン化に向け、必要なシステム構築等を行う。 ア) マイナポータルと釧路市の基幹システムのオンライン接続を行うシステムの構築 イ) ぴったりサービス導入に伴う各種設定変更 	<p>②行政手続のオンライン化</p> <ul style="list-style-type: none"> 必要な構築等を完了し、順次オンライン化を実施。 令和4年9月 子育て、介護関連手続き 令和5年2月 引越し手続き 3月 選挙、罹災証明関連手続き ・ 釧路市HPと公式LINEからアクセス可能に。 ◎ 申請件数一覧(3月末時点) <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 20px;">  <p>※ぴったりサービス 国が運営するマイナポータルのサービス検索・電子申請機能を利用し、行政手続をオンラインで行えるサービス</p> </div> <div> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子育て関連</td> <td>20件</td> </tr> <tr> <td>介護関連</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>引越し関連</td> <td>332件</td> </tr> <tr> <td>選挙関連</td> <td>6件</td> </tr> </tbody> </table> </div> </div> 	項目	件数	子育て関連	20件	介護関連	1件	引越し関連	332件	選挙関連	6件
項目	件数										
子育て関連	20件										
介護関連	1件										
引越し関連	332件										
選挙関連	6件										

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果					
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <table border="1" style="display: inline-table; margin-left: 20px;"> <tr> <td style="width: 50px;">評価</td> <td>継続維持</td> </tr> </table>		評価	継続維持	該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <table border="1" style="display: inline-table; margin-left: 20px;"> <tr> <td style="width: 50px;">評価</td> <td>拡充</td> </tr> </table>		評価	拡充
評価	継続維持						
評価	拡充						
課題	<ul style="list-style-type: none"> 効率的かつ効果的な行政サービスの提供のため、情報発信の見直し、行政手続きのオンライン化、問い合わせ対応の見直し、行政データの活用・共有、デジタルデバインド(情報格差問題)対策など、積極的にDXを推進する必要がある。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> 民間目線の専門的知見について、プロジェクトチームだけでなく、庁内を巻き込んだ業務改善や人材育成につなげていく必要がある。また行政手続きのオンライン化については「ぴったりサービス」対象外手続きへの更なる拡充が必要。 				
今後(令和5年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 行政情報システムの標準化・共通化や、行政の内部手続きをデジタル化するなどの業務効率化と、電子申請などの市民の利便性向上を図るため、必要となるツールの導入や業務の見直しを進める。 	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 国が主導する行政情報システムの標準化・共通化の動向を見極めながら、令和5年度から採用した地域活性化起業人を活用し、庁内業務改善や人材育成を進めるとともに、公的個人認証やオンライン決済により、行政手続きの更なるオンライン化を進める。 				


令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	職員研修事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	総務部職員課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想
目的と概要	職員一人ひとりがそれぞれの役割を的確に果たしていけるよう意識改革につとめながら、行政のプロとして分権型社会に即応した行政実務能力が求められる。このことから、職員それぞれが活躍できる適正分野について、適時に見極めることができる取り組みを中心に実施することを目的とする。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		2,527	2,710	4,925
財源	一般財源 (千円)	2,167	2,297	3,434
	国道支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)	360	413	1,491
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	707	704	722
①	職員数 (人)	0.1	0.1	0.1
参考	市民一人あたりの費用 (円)		17.0	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市の人口 159,014 人 (R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1) 年度当初計画	(2) 事業の実績と成果
<p>① 総務省自治大学校への入校</p> <p>【研修課程】第2部課程（市町村の幹部候補生対象） 【研修内容】地方公共団体の中堅幹部、将来の中核幹部として必要な応用能力の学びとなる基本法制について、演習等を織り交ぜながら、実践的に通用する応用をつけるための研修</p> <p>② 北見工業大学における実地研修（土木職）</p> <p>【研修内容】 ・オホーツク地域創生研究パークにある実物大の土木構造物を活用した実地研修 ・積雪寒冷地域の気候特性を考慮したインフラの長寿命化や防災対策についての研修</p>	<p>① 総務省自治大学校への入校</p> <p>◎左記研修に参加することで、基本法制や他団体の政策に関する知識を深めるとともに、政策形成能力の向上が図られた。 【対象者】1名（主任） 【期間】7月26日～9月22日</p> <p>② 北見工業大学副学長による座学研修（土木職）</p> <p>同大学と調整した結果、令和4年度は座学研修とし、以下のとおり実施した。 【日時】令和5年2月15日 10:00～11:30 【講師】北見工業大学 副学長 川口貴之 氏 【内容】地盤工学のうち「凍上」について 【対象者】35歳以下の土木職及び受講希望職員 【出席者】23名（※リモートによる参加有）</p> <div style="text-align: center;">  <p>研修の様子</p> </div> <p>③ 一級建築士免許取得助成（建築職）</p> <p>【目的】一級建築士を目指す職員を支援し、本市の業務を継続する上で必要な免許取得者を確保する。 【対象者】一級建築士免許を取得した職員 【助成額】講座受講料の1/2及び受験手数料(上限50万円)</p> <p>・対象者なし</p>

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持	
課題	評価を実施していないため、空欄となります。	課題	今後も引き続き自ら考え判断できる高い専門性をもった職員を養成し、将来的な本市の行政を担うための人材育成が必要。
今後(令和5年度以降)の方向性	評価を実施していないため、空欄となります。	今後(令和6年度以降)の方向性	自治大学校による研修については、住民ニーズに的確に対応していくためにより広い識見と高い能力をもった地方公務員を養成しており、当該職員が政策能力及び行政経営能力を身につけ将来的に本市の行政を担うための人材育成を今後も継続して行う。技術職員のスキルアップのため、一級建築士の資格取得費助成や大学講師によるオンライン授業の実施を今後も継続して行う。


令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	都市経営戦略プラン推進事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	総合政策部都市経営課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 _____ _____ _____
目的と概要	釧路市が将来にわたって持続的に発展していくために、平成23年度に策定した「都市経営戦略プラン」に基づき、「都市経営」の視点で市役所の仕事を進められるようにする。また、策定と並行して、市役所職員や市民へ「都市経営」の考え方を浸透させるための啓発を行う。 ※都市経営・・・ヒト・モノ・カネ、情報を効率的、効果的に投資し、プラス成長を目指すこと。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		6,000	2,300	2,500
財源	一般財源 (千円)	6,000	0	0
	国道支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)		2,300	2,500
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	3,534	3,520	3,608
①	職員数 (人)	0.5	0.5	0.5
参考	市民一人あたりの費用 (円)		14.5	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市民の人口 159,014 人 (R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1) 年度当初計画	(2) 事業の実績と成果
<p>●政策プランの推進</p> <p>①産業連関表(平成27年度)を活用した産業構造分析を行い、高付加価値化に向けた方策の検討を行う。</p> <p>②釧路公立大学地域経済研究センターへ分析を委託する。</p>	<p>●政策プランの推進</p> <p>①産業連関表(平成27年度)を活用した産業構造分析 釧路市における産業構造分析と高付加価値化等に向けた現状と課題に関する研究 釧路市産業連関表をはじめとした各種統計資料、道内他都市(帯広市・函館市)の事業所アンケート調査等により釧路市の産業分析構造を把握し、企業の高付加価値化をはじめとした今後の方策を検討する研究を実施</p> <p>1 分析結果の概要</p> <p>①産業連関表 ・粗付加価値額: 全体的に伸び率が低く、域際収支が悪化、自給率が低下 ・医療保健、社会保障、対事業所サービスの伸びが中心、一方、水産食料品は付加価値が低い</p> <p>②工業統計 ・事業所数、従業員数の大きな減少、出荷額の減少 ・製造業全体の労働生産性は高い</p> <p>③3都市事業所アンケート ・釧路市での製造業の従業員は男性中心、高齢者率高、水産加工等食料品製造業中心であり年収が低水準 ・差別化が困難との回答が多く、差別化、新規分野進出は人員不足、スキル不足により困難 ・釧路市製造業は、産出額、付加価値額は低下傾向、一方で、労働生産性は上昇、一定の営業利益は確保</p> <p>2 分析総括と提言 【釧路市産業全体の傾向】業種別労働生産性: 各業種とも高水準 ⇒ 無借金経営(守りに強い特徴) 【釧路市の主力産業水産加工の傾向】 ①水産業の水揚げの長期的低下 ②高付加価値魚種の不漁によるt当たり単価の低下 【水産加工産業の強み】 ①水産加工業の集積 ②大きな冷蔵・冷凍能力</p> <p>【提言: 攻めの経営へ】 養殖、ブランド化、差別化支援 等</p>
<p>都市経営戦略プランとは…</p> <p>釧路市が将来にわたって持続的に発展していくために、ヒト、モノ、カネ、情報を効率的、効果的に投資し、プラス成長を目指すことを目的として策定したプラン。政策プラン、市役所改革プラン、財政健全化推進プランの3つのプランで構成されている。</p>	

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持	
課題	・「都市経営」の基本的な考え方に基づき、産業基盤の強化や高付加価値工場に資する取り組みを進める必要がある。	課題	・「都市経営」の基本的な考え方に基づき、産業基盤の強化や高付加価値工場に資する取り組みを進める必要がある。
今後(令和5年度以降)の方向性	・「釧路市まちづくり基本構想」を推進していく中で、引き続き「都市経営」の考え方の浸透に務める。	今後(令和6年度以降)の方向性	・「釧路市まちづくり基本構想」を推進していく中で、引き続き「都市経営」の考え方の浸透に務める。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	行政評価推進事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	総合政策部都市経営課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想
	市役所改革プラン
目的と概要	都市の経営資源が効率的・効果的に活用されているかをチェックし、さらなる活用を図る意義のもと、①PDCAの考え方の定着、②都市の経営資源の効率的・効果的な投資、③市役所の仕事の「見える化」を目的に行政評価を実施する。 事務事業ごとに「主要施策成果シート」を作成し、これらを「主要施策成果報告書」にまとめ、地方自治法第233条第5項に基づき、決算資料として議会に提出するとともに、ホームページを通じて公表する。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		133	165	172
財源	一般財源 (千円)	133	165	172
	国道支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	3,534	3,520	3,608
①	職員数 (人)	0.5	0.5	0.5
参考	市民一人あたりの費用 (円)		1.0	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市の人口 159,014 人 (R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>①PDCAの考え方の定着 釧路市で行っている下記の事業に対して評価を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和3年度当初予算の主要事業 (「予算(案)の概要」掲載事業) 令和3年度補正予算で追加された主要事業 令和2年度から令和3年度に繰越をした繰越明許事業 <p>②評価結果の令和5年度予算への反映 評価結果を予算編成に生かすため、予算要求資料に記載。</p> <p>③市役所の仕事の見える化 ・主要施策成果報告書の作成</p> <p>・同報告書の市ホームページへの掲載</p>	<p>①PDCAの考え方の定着 釧路市で行っている下記の事業の「主要施策成果シート」を作成し、評価を実施した。(合計191事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和3年度当初予算の主要事業 (「予算(案)の概要」掲載事業) 令和3年度補正予算で追加された主要事業 令和2年度から令和3年度に繰越をした繰越明許事業 <p>②評価結果の令和5年度予算への反映 評価結果が予算編成に生かされるよう、行政評価で用いた「事業の目的と概要」「事業の実績と成果」等を予算要求資料に転記し、翌年度予算との整合性を図った。</p> <p>③市役所の仕事の見える化 ・令和4年度9月定例会市議会において、「主要施策成果シート」を1冊にまとめた「令和3年度主要施策成果報告書」を提出。</p> <p>・同報告書を市ホームページへ掲載し公表。</p>
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>PDCAとは 事業計画(Plan)を立て、事業を実施し(Do)、取組実績・成果を整理し、課題を明らかにし(Check)、次につなげる(Action)という継続的な業務改善方法のこと。</p> </div>	

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持	
課題	・引き続き、予算編成との連動性や成果重視の予算編成の取り組みについて、行政評価が機能する仕組みを検討する必要がある。	課題	・引き続き、予算編成との連動性や成果重視の予算編成の取り組みについて、行政評価が機能する仕組みを検討する必要がある。
今後(令和5年度以降)の方向性	・「釧路市まちづくり基本構想」における中期実施計画と、「主要施策成果報告書」の連動を図り、引き続き行政評価を行っていく。	今後(令和6年度以降)の方向性	・「釧路市まちづくり基本構想」における中期実施計画と、「主要施策成果報告書」の連動を図り、引き続き行政評価を行っていく。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	個人番号カード交付等事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	市民環境部戸籍住民課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想
	マイナンバーカード交付円滑化計画(内閣府、総務省)
目的と概要	国が想定するマイナンバーカードの交付は、令和4年度末までに「ほとんどの住民がカードを保有する」とした計画で進められており、釧路市は交付計画に沿った体制整備を行い、増加するマイナンバーカードの申請・交付業務に対応していく。これにより、当課の申請及び交付窓口を拡充し、併せて国の消費活性化策であるマイナポイントの設定支援を行う体制を構築するとともに、マイナンバーカードを取得したい市民への申請機会を充実することで、マイナンバーカードの周知と普及促進を行うものである。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		100,699	206,567	213,417
財源	一般財源 (千円)	0	0	8
	国庫支出金 (千円)	100,617	206,377	213,084
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)	82	190	325
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	22,614	22,528	23,088
①	職員数 (人)	3.2	3.2	3.2
参考	市民一人あたりの費用 (円)		1,299.0	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市の人口 159,014 人(R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>○個人番号カード交付体制の整備、マイナポイント支援窓口の常設</p> <p>マイナンバーカードの取得者の増加を想定した交付体制の拡充と、国の消費活性化策「マイナポイント」の支援窓口を支援するためのブースを設置した。また、カードの申請を希望する市民への申請サポートを充実させる。</p> <p>(1)交付等ブースの設置 ◎増加する申請と交付に対応するため、申請・更新ブースと交付ブースに切り分けし、それぞれに対応職員を配置する。 ○国の想定する計画は、令和4年度末までにほぼ全ての国民がマイナンバーカードを保有するとの方針で進められている。</p> <p>(2)マイナポイント支援窓口 ◎令和2年9月にマイナポイント第1弾の付与が開始され、設定支援を行う窓口を常設。その後、令和4年1月から第2弾の付与が開始された。支援は、カード交付と同時に行うことが効果的なことから、引き続き支援を行う窓口を常設した。</p> <p>(3)申請サポートの充実 ◎マイナポイント効果や健康保健証利用等によりマイナンバーカードの申請者が増加する想定から、市民が便利にカードを取得できるよう申請サポートを充実する。 ○商業施設等での出張サポート ○申請時来庁方式(郵送交付)の実施</p> <p>(4)その他 ◎令和4年度 会計年度任用職員13人体制 ○申請・更新担当3名、交付・マイナポイント・出張申請担当10名</p>	<p>○交付体制整備とマイナポイントによるマイナンバーカード普及効果</p> <p>実施結果は以下のとおり 補助率10/10</p> <p>(1)申請・交付等における窓口等の設置 ◎令和3年度に設置した釧路市マイナンバーカードセンター(東部地区、西部地区)及び釧路市マイナンバーコールセンターを引き続き開設した。 ◎実績 交付枚数月平均3,903枚 申請件数月平均4,946枚 ※令和4年度末で、交付118,075枚、交付率74.2% ※前年度対比で、46,838枚、30.2ポイントの増</p> <p>(2)マイナポイント支援窓口 ◎令和4年度設定支援(予約、申込)延べ44,841件(市での支援数)(専用端末の使用件数。個人の端末機設定助言分は含まず) ○すべての窓口交付者にチラシと声掛けで利用呼びかけ ○すべての郵送交付者にチラシを同封し利用呼びかけ</p> <p>(3)申請サポートの充実 ◎来庁申請サポート 36,406件 ◎団体申請サポート 17団体171件 ◎出張申請サポート 20会場188件 ◎上記サポートのうち、郵送交付24,634件 ※カードの受け取りが自宅でも可能</p> <p>(4)その他 ◎令和4年度 会計年度任用職員12人体制 ○申請・更新担当3人、交付・マイナポイント・出張申請担当9人</p>

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 拡充		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持	
課題	<ul style="list-style-type: none"> 市の交付枚数の向上 申請数増加に伴う内部処理事務の増加 	課題	<ul style="list-style-type: none"> 市の交付枚数の向上 内部処理事務の増加に伴う職員配置
今後(令和5年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> マイナンバーカードの普及促進の取り組みを継続していく。 カードの変更・更新事務等で窓口の滞留を発生させない仕組みづくり 	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 今後もカードの変更・更新等の受付や事務を継続していく。 マイナンバーカードセンター等の運営継続経費については、国庫支出金(補助率10/10)の対象となっており、国の予算編成の動向を注視し判断していくこととなる。 今後、国で推奨しているマイナンバーカードの利活用については庁舎内関係各課で検討が必要となる。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	財産管理事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	財政部市有財産対策室
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略 公共施設等適正化計画 公共施設等見直し指針 都市経営戦略プラン
目的と概要	自主財源の確保と保有資産の縮減のため、未利用地等の処分を推進する。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画 〈市有地売却促進〉	(2)事業の実績と成果 〈市有地売却促進〉
<p>○一般競争入札</p> <p>(1)一般競争入札</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入札予定 2物件(2筆、2,943.35㎡) <p>(2)一般競争入札(インターネット公売)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入札予定 9物件(9筆、4,126.74㎡) <p>○随意契約</p> <p>(1)価格固定先着順による売却</p> <ul style="list-style-type: none"> ・募集物件 1物件 一般競争入札において入札不調となった物件 <p>(2)不動産媒介制度による売却</p> <ul style="list-style-type: none"> ・媒介依頼物件 (1)の募集物件 	<p>○一般競争入札</p> <p>(1)一般競争入札</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入札実施 3物件(3筆、3,093.67㎡) ◎売却物件 なし <p>(2)一般競争入札(インターネット公売)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入札実施 9物件(9筆、4,126.74㎡) ◎売却物件 1物件(1筆、1,050.09㎡) <p>※ 入札不調となった物件は、価格固定先着順で売却促進</p> <p>○随意契約</p> <p>(1)価格固定先着順による売却</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施物件 11物件(11筆、6,170.32㎡) ◎売却物件 1物件(1筆、2,232.31㎡) <p>(2)不動産媒介制度による売却</p> <ul style="list-style-type: none"> ・媒介依頼物件 (1)の実施物件(11物件) ◎売却物件 なし
<p>【売却収入予算合計】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般競争入札 45,958千円 ・随意契約 4,173千円 ・合計 11物件(11筆、7,070.09㎡) 50,131千円 	<p>【売却収入実績合計】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般競争入札 25,750千円 ・随意契約 43,597千円 ・合計 2物件(2筆、3,282.40㎡) 69,347千円

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		3,247	3,224	8,351
財源	一般財源 (千円)	△ 50,339	△ 66,123	△ 36,885
	国道支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)	53,586	69,347	45,236
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考 職員人件費 (千円)		7,067	7,040	7,215
① 職員数 (人)		1.0	1.0	1.0
参考 市民一人あたりの費用 (円)			20.3	
② 市民一人あたりの将来負担額 (円)			0.0	
注1) 釧路市民の人口 159,014人(R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持	
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・売却に適した土地の減少 ・売却に至らなかった物件の処分 	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・売却に適した土地の減少 ・売却に至らなかった物件の処分
今後(令和5年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な処分方法の検討及び売却促進に向けた取組の継続 	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な処分方法の検討及び売却促進に向けた取組の継続


令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	定住自立圏構想等推進事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	総合政策部都市経営課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略 定住自立圏構想等推進要綱(総務省)
目的と概要	今後、人口減に伴う税収の減少などにより、全ての市町村ごとにフルセットの生活機能を整備・維持していくことが困難な状況となることが予想されるため、定住自立圏構想における圏域の中心市である釧路市の機能と近隣市町村の機能とが協定によって連携し、「定住」のために必要なさまざまな機能を圏域全体で確保することを目指す。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		55	50	101
財源	一般財源 (千円)	55	50	101
	国庫支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	3,534	3,520	3,608
①	職員数 (人)	0.5	0.5	0.5
参考	市民一人あたりの費用 (円)		0.3	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市民の人口 159,014人 (R5.3未現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>1 連携事業の推進 圏域の釧路市と管内町村とが締結した協定に基づき、「生活基盤の強化」「結びつきやネットワークの強化」「圏域マネジメント能力の強化」の3つの政策分野について取組を推進する。</p> <p>2 協定の締結、変更等 この協定は、圏域全体の定住に必要な都市機能の確保、充実を図り、圏域住民が安心して暮らし続けられる圏域とするために締結するものである。 これまで釧路市と管内全ての町村との間で協定が締結された。今後、必要がある場合には変更を行うこととしている。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>※ 釧路市との協定締結状況(締結順) 平成22年 釧路町、浜中町、鶴居村、白糠町、厚岸町 平成23年 標茶町、弟子屈町</p> </div> <p>※ 共生ビジョンの期間は概ね5年とされており、現在の共生ビジョンは令和2年度から令和6年度までの5年間。</p> <p>3 会議の開催 定住自立圏共生ビジョン懇談会の開催</p> <p>※「定住自立圏共生ビジョン懇談会」とは 定住自立圏共生ビジョンは、中心市である釧路市が、圏域の将来像や協定に基づいて推進する具体的な取組等について記載するもので、状況の変化に応じて毎年度変更を行っている。 その策定や変更にあたって、民間や地域の関係者を構成員として釧路市が開催する協議・懇談の場が「共生ビジョン懇談会」である。</p>	<p>1 連携事業の実施 (1)定住自立圏の構想の推進に要する経費(特別交付税額) 令和4年度:124,971千円(令和3年度:103,750千円)</p> <p>(2)令和4年度連携内容(3つの政策分野から抜粋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎【生活機能の強化】初期救急及び広域救急医療体制の充実 ・釧路市夜間救急センター利用件数 R4:3,254件(うち管内町村456件) ◎【結びつきやネットワークの強化】移住・長期滞在に関する連携 ・圏域内での長期滞在者数 R4:2,267人(うち管内町村67人) ◎【圏域マネジメント能力の強化】宣言中心市等における人材の育成 ・宣言中心市等における人材育成等のセミナーへの参加人数 R4:2,086人(うち管内町村176人) <p>2 協定の締結、変更等 なし</p> <p>3 会議の開催 ・定住自立圏共生ビジョン懇談会 令和4年8月26日開催【写真】 令和4年9月 ※書面開催</p> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  </div> <p>・管内首長意見交換会 令和4年11月29日開催</p>

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持	
課題	・協定に基づく連携事業による、成果の検証を行い、課題等の解決策を、ビジョンにも反映していく必要がある。	課題	・協定に基づく連携事業による、成果の検証を行い、課題等の解決策を、ビジョンにも反映していく必要がある。
今後(令和5年度以降)の方向性	・ビジョンの検証を行うなかで生じた課題を解決するために、新しい取組の検討など、他町村との連携を深めながら定住に必要な都市機能の確保、充実を図っていく。	今後(令和6年度以降)の方向性	・ビジョンの検証を行うなかで生じた課題を解決するために、新しい取組の検討など、他町村との連携を深めながら定住に必要な都市機能の確保、充実を図っていく。